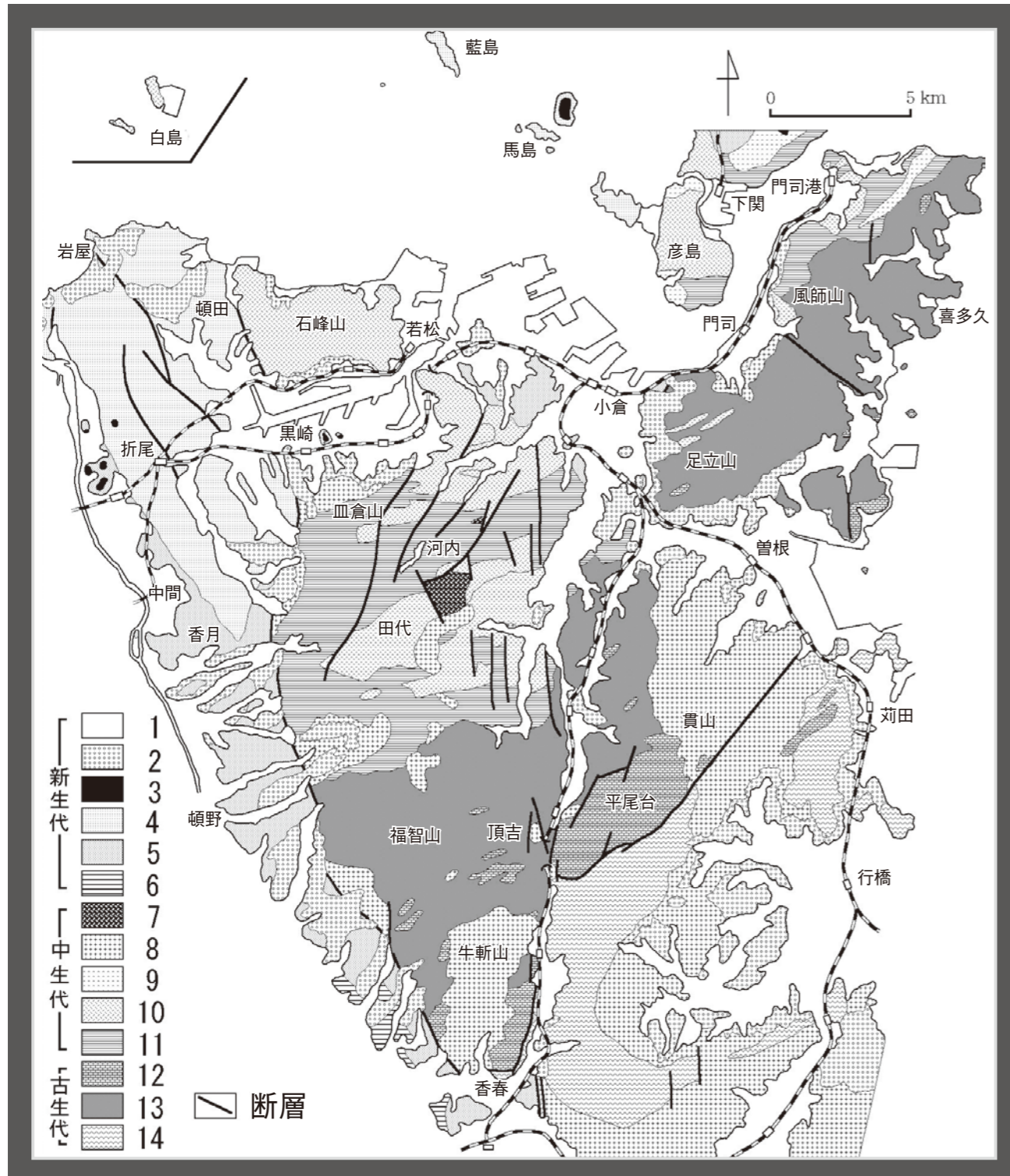


北九州地方の地質図



1. 沖積層・埋め立て地 2. 段丘構成層 3. 玄武岩 4～6. 古第三紀層 (4. 芦屋層群 5. 大辻層群 6. 直方層群) 7. 八幡層 8. 花崗岩質深成岩類 9. ヒン岩等貫入岩類 10～11. 関門層群 (10. 下関亜層群 11. 脇野亜層群) 12～13. 呼野層群 (12. 石灰岩 13. 非石灰岩類) 14. 三郡変成岩

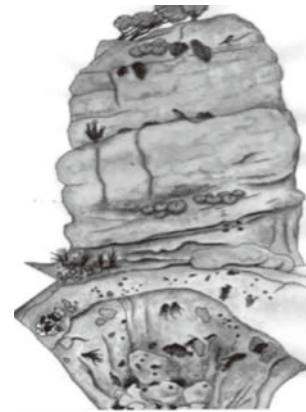
地質年代表

地質年代		生物の歴史	北九州地方の地層	
新生代	第四紀	完新世	沖積層 (紫川や遠賀川の低地など)	
		更新世	古砂丘層 (芦屋町など)	
		約260万年前	若松層 (若松区岩屋など)	
	新第三紀	鮮新世	★ヤベオオツノジカ	玄武岩 (八幡西区域山・妙見山・日ノ峰山、水巻町豊前坊山など)
		中新世	☆人類の誕生	
	古第三紀	約2300万年前		
漸新世		★ペンギンモドキ	芦屋層群 (若松区岩屋など)	
始新世		★珪化木	大辻層群 (八幡西区など)	
暁新世		☆霊長類の出現	直方層群 (直方市など)	
中生代	白亜紀	6600万年前	☆哺乳類の発展	
			☆恐竜の絶滅	
		★恐竜・ディプロミスタス	八幡層 (合馬)	
	約1.45億年前	☆始祖鳥の出現	関門層群 (若松半島、山田緑地～皿倉山～尺岳、風師山)	
	ジュラ紀			
古生代	三畳紀	約2.01億年前	☆哺乳類の出現	
			☆恐竜の出現	
	約2.52億年前	★フズリナ	呼野層群 (企救半島、平尾台～福智山地域)	
	ペルム紀	約2.99億年前	☆爬虫類の出現	
	石炭紀	約3.59億年前	★梅花石 (ウミユリ)	
	デボン紀	約4.19億年前	☆両生類の出現	
	シルル紀	約4.44億年前		
先カンブリア時代	オルドビス紀	約4.44億年前	☆脊椎動物の出現	
		約4.85億年前		
	カンブリア紀	約5.41億年前	☆原始的無脊椎動物の繁栄	
原生代				
	始生代	約40億年前	☆生命の誕生	
		約46億年前	☆地球誕生	

★は北九州市のできごと

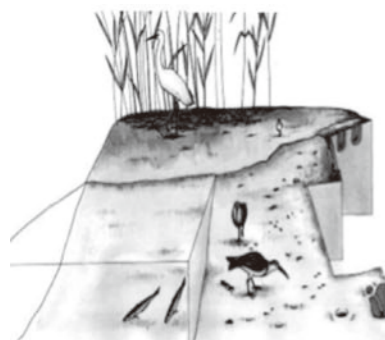
自然発見館のジオラマと生き物

自然発見館では、北九州の海岸や森などの地形や、そこにくらす生き物を実物標本と模型で再現したジオラマがあります。ジオラマで北九州市を代表する海岸、干潟、池、川、林、草原と6つの環境を再現しています。環境やそこで生活する生き物を比較することや、同じ環境で生活する生き物の関わり合いを考える場面において活用できます。



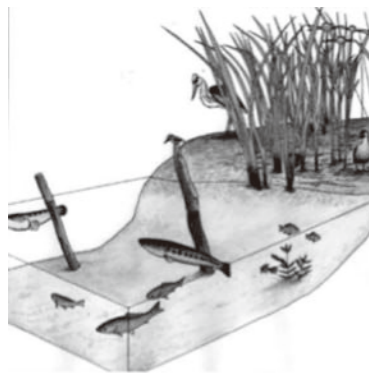
海岸(岩屋海岸) (展示解説のある生き物)

イソヒヨドリ(ツグミ科)	ヒザラガイ(ヒザラガイ科)
フナムシ(フナムシ科)	ハマナデシコ(ナデシコ科)
カメノテ(ミョウガガイ科)	ハマヒサカキ(ツバキ科)
クロフジツボ(フジツボ科)	タイトゴメ(ベンケイソウ科)
イワフジツボ(イワフジツボ科)	イトマキヒトデ(イトマキヒトデ科)
タマキビ(タマキビ科)	ムラサキウニ(ナガウニ科)
タイドプールの魚	



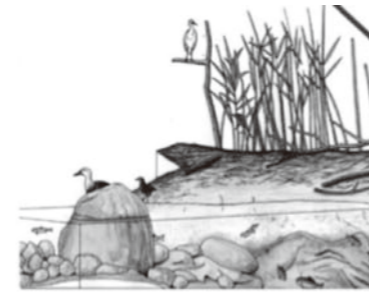
干潟(曾根干潟) (展示解説のある生き物)

トビハゼ(ハゼ科)	オサガニ(スナガニ科)
アオギス(キス科)	チゴガニ(スナガニ科)
シバナ(ホロムイソウ科)	カブトガニ(カブトガニ科)
ヤマトオサガニ(スナガニ科)	アオサギ(サギ科)
コメツキガニ(スナガニ科)	チュウシャクシギ(シギ科)
ハクセンシオマネキ(スナガニ科)	



ため池(浦の谷池) (展示解説のある生き物)

カイツブリ(カイツブリ科)	アメリカザリガニ(アメリカザリガニ科)
フナ(コイ科)	マコモ(イネ科)
モツゴ(コイ科)	ガガブタ(ミツガシワ科)
ブルーギル(サンフィッシュ科)	ヒシ(ヒシ科)
カムルチー(タイワンドジョウ科)	
コイ(コイ科)	



川(紫川) (展示解説のある生き物)

カルガモ(カモ科)	アブラボテ(コイ科)
ダイサギ(サギ科)	ドンコ(ハゼ科)
カマツカ(コイ科)	オヤニラミ(ケツギョ科)
アユ(アユ科)	オイカワとカワムツ



森林(山田緑地) (展示解説のある生き物)

ヤマドリ(キジ科)	ツブラジイ(ブナ科)
ニホンザル(オナガザル科)	シロダモ(クスノキ科)
ヒミズ(モグラ科)	カクレミノ(ウコギ科)
タブノキ(クスノキ科)	ヒサカキ(ツバキ科)



草原(平尾台) (展示解説のある生き物)

キジ(キジ科)	ノヒメユリ(ユリ科)
ウグイス(ウグイス科)	キキョウ(キキョウ科)
ホトギス(カッコウ科)	オミナエシ(オミナエシ科)
カヤネズミ(ネズミ科)	ミシマサイコ(セリ科)

※ 上に紹介した生き物以外にも、たくさんの生き物が展示されています。展示パネルにより、展示されている生き物の名前を調べることができます。

OVER EXHIBITIONS

自然発見館には上記以外にも様々な展示があります。

◎ 北九州地域の地質模型

◎ 千仏鍾乳洞のジオラマ

◎ オオサンショウウオ

自然学習園

平尾台の草原ゾーン

ススキが一面に広がる平尾台の草原は、定期的な野焼きによって維持されています。天然の草原に対し、このように人間によって維持されている草原は“二次草原(半自然草原)”と呼ばれています。平尾台の二次草原には、“草原性生物”とよばれる明るく開けた場所を好む生きものが数多く生育しています。そのなかには、かつて日本がアジア大陸と陸続きであった頃に日本に渡ってきた“大陸系の生物”も含まれています。

二次草原の面積は、近年、急速に減少してしまいました。そのため、草原性の生物のなかには、すみ場所を失い、絶滅が危ぶまれるようになったものもあります。

ここでは、平尾台のような二次草原を再現しようとしています。



小倉南区平尾台

金毘羅山の林ゾーン

私たちの周りで見られる林の多くは、古来より人手が加えられた林で、天然林に対し、“二次林”と呼ばれています。温暖で降水量が多い北九州地域の二次林の主役は、シイ・カシ類やタブノキなどの常緑広葉樹です。

二次林は、燃料や肥料の採取のための柴刈りや落ち葉かき、炭焼きのための伐採など、人間の生活と密着した利用がなされていた林で、“里山林”とも呼ばれています。

近年、里山林は経済的な価値を失い、かつてのような利用がなされなくなりました。このため、里山林の環境は大きく変化し、里山林から姿を消しつつある生きものも出てきました。

ここでは、金毘羅山にみられるような二次林を再現しようとしています。

畑

自然学習園の畑では自然の営みと人々のくらしについて考える講座「いのたび自然塾」で使用する作物を育てています。講座では、作物の成長を楽しみ、作物に集まる生き物を観察し、収穫後の活用などについて紹介します。



畑

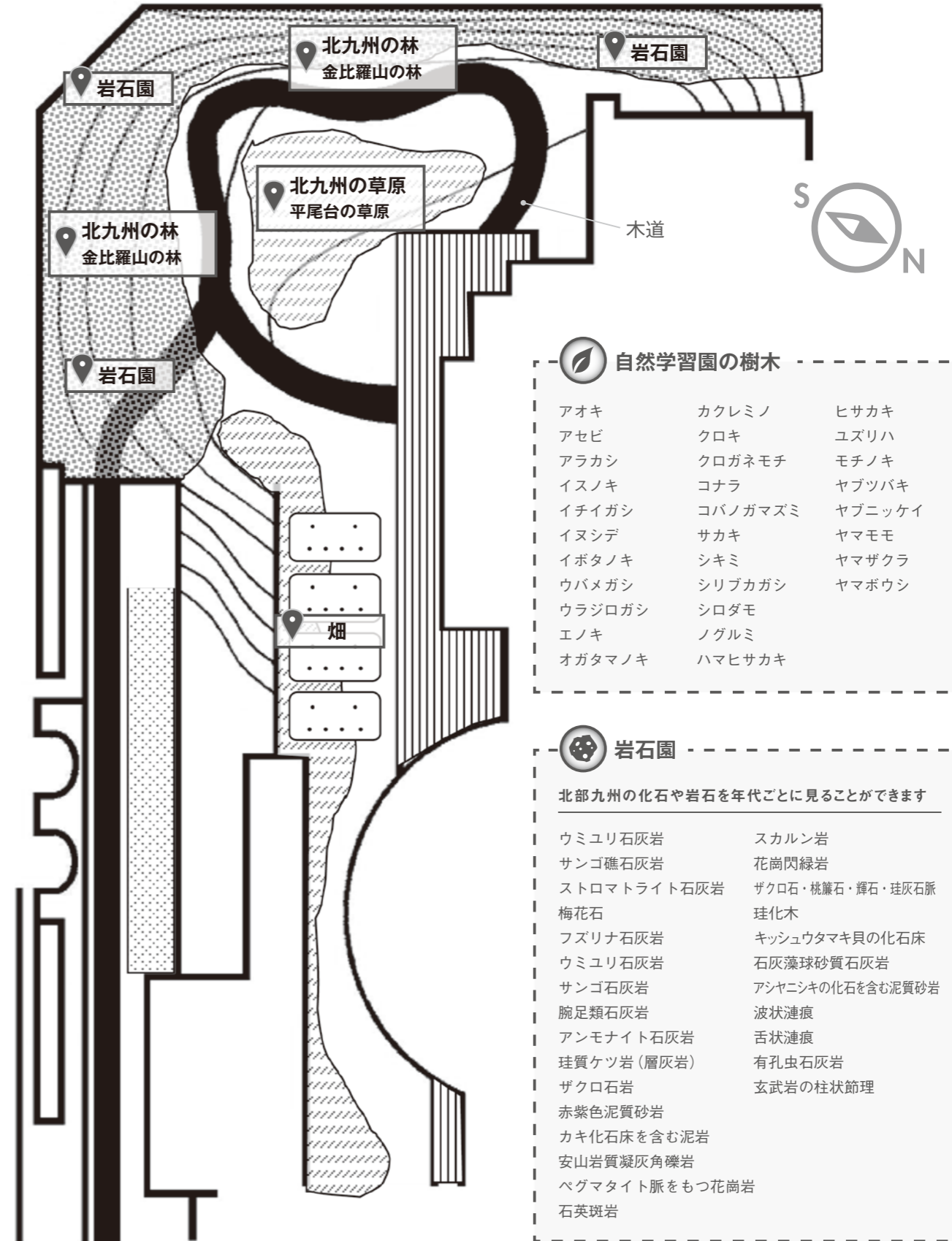
岩石園

遊歩道を歩いていくと、北部九州の代表的な岩石や化石などを年代ごとに見ることができます。



岩石園

自然学習園MAP



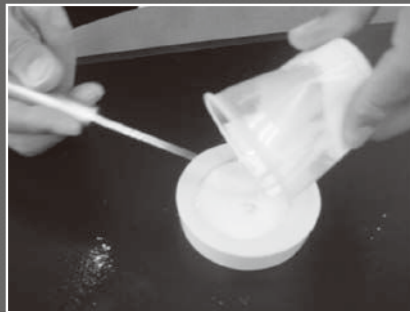
体験学習プログラムの利用

いのちのたび博物館では、展示見学だけでなく、博物館で「体験」していただくための「体験学習プログラム」をご用意しております。



化石レプリカづくり

石膏を使ってアンモナイト等の化石レプリカを作ります。固まったレプリカを型から取り出す作業には、誰もがワクワクすることでしょう。実際に本物の化石を見ながら作業を行うことで、観察力を養うことができます。



型に石膏を流し込んでレプリカを作る様子



色を塗ったアンモナイトレプリカ

定員	40名程度
持参するもの	なし
時間	50～60分程度
教材費	200円

ペットボトル顕微鏡づくり

ペットボトルとビーズ玉を使って顕微鏡を作ります。身近なものを利用して、手軽に顕微鏡を作ることができるという新鮮な驚きと喜びを感じることができ、探究心や自然愛護の気持を育むことができるプログラムです。ペットボトルホルダーが付きまます。



完成したペットボトル顕微鏡



顕微鏡で見るオオカナダモ(約90倍)

定員	40名程度
持参するもの	ペットボトル
時間	50～60分程度
教材費	200円

体験学習プログラムの利用



勾玉づくり

弥生時代から古墳時代にかけて身分の高い人たちが身に着けていた勾玉づくりに挑戦するプログラムです。滑石(かっせき)に自分でデザインを描き紙やすりで削ります。形を整えたら、ドリルで穴を開けて皮ひもを通して完成です。世界にひとつしかない自分だけの勾玉が出来たとき、古代のロマンにひたれる気がします。



やすりなどの道具でスムーズに滑石を削ることができます



滑石から勾玉になるまでの過程

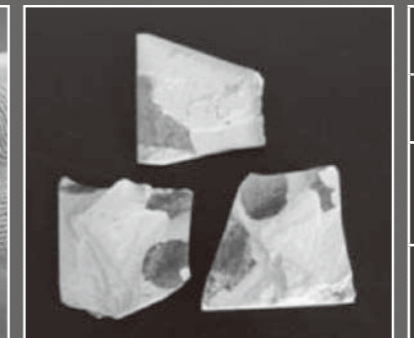
定員	40名程度
持参するもの	なし
時間	50～60分程度
教材費	200円

化石の発掘体験をしよう

栃木県の塩原にある化石園の岩石を素材とし、化石の発掘体験を行います。塩原は、保存の良い化石が豊富に産する日本の代表的な化石の産地です。小学校の児童でもハンマーを使って化石を取り出すことができます。植物の化石が多く産出しますが、魚や昆虫類の化石も発見されています。自分で発掘した化石は標本にして持って帰っていただけます。



化石を発掘する様子



発掘した木の葉の化石

定員	40名程度
持参するもの	なし
時間	50～60分程度
教材費	300円

事前申込と別途料金が必要ですので、ご希望の場合は、あらかじめ博物館へご連絡下さい。

※内容については変更する場合がございます。詳細についてはお問い合わせ下さい。

ディスカバリーボックスの貸し出し

学校団体対象にディスカバリーボックスの貸し出しを行っています。
理科の授業、クラブ活動、選択教科などでのご利用はいかがでしょうか。

- 貸し出し、返却は当館で行います。(貸し出し期間は原則1週間です)
- 貸し出しは無料ですが、石膏など消耗品は学校で準備されてください。



アンモナイト化石レプリカ作成キット

石膏を使いアンモナイトのレプリカを作成するキットです。実際に型どりに使った実物のアンモナイトを観察しながら、色塗りまで行うことができます。



【キット内容】

実物アンモナイト化石	1個
アンモナイト型	7個
計量スプーン	1個
計量カップ	1個

以上のセットが6セット入っています。別に説明書があります。

【学校で準備していただくもの】

- ・石膏(一人約40g) ・紙コップ ・割り箸
- ・絵の具 ・パレット ・筆 ・筆洗い用バケツ

昆虫標本作成キット

昆虫の標本作りに必要なものが一式そろっています。初心者の方にも扱いやすいキットです。標本をつくることで昆虫をじっくりと観察することができます。



【キット内容】

展翅板	1個
展足板	1個
昆虫針(100本入り)	4セット
玉針(50本入り)	4セット
展翅テープ 大・小	各4セット
ピンセット	4本
展翅専用針柄	4本
説明書	

【学校で準備していただくもの】

- ・展翅する昆虫

博物館のホームページでは「アクセス・利用案内」「展示案内」「修学旅行・校外学習・団体利用」「博物館の活動」と幅広くのちのたび博物館について紹介しております。学校の先生方には、「修学旅行・校外学習・団体利用」の修学旅行・校外学習のご案内をご覧くださいことをお勧めしております。

修学旅行・校外学習のページ



博物館のホームページの修学旅行・校外学習のご案内では、「来館までの流れと手続き」「館内見学時間とコース」「館内での体験学習」「周辺施設とモデルコース」「授業での博物館利用」「ダウンロードコーナー」と多くのページを設け、学校での学習に利用していただける情報を数多く紹介しています。特に、「ダウンロードコーナー」では、学校団体が申し込むのに必要な書類や、利用の手引きのワークシートを含む館内で活用できるワークシート、北九州の教科書の流れに沿った「学習内容と展示の対照表」など理科・社会・総合的な学習の時間などの教科に関する資料を自由にダウンロードでき、博物館での学習に役立てるようにしています。



ダウンロードコーナー

- ・申請書類(団体見学申込書・常設展減免申請書)
- ・ワークシート(スタンプラリーシートや展示場所に対応したワークシートなど)
- ・学習内容と展示の対照表(小学校・中学校における理科・社会)
- ・博物館を利用した総合的な学習の時間展開例

<http://www.kmnh.jp/> **いのちのたび博物館** で検索してください